

京都府丹後保健所HPバナー

新型インフルエンザ NEWS

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 **京都府丹後保健所**
 (丹後広域振興局健康福祉部)
 保健室 感染症・難病担当
 〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
 TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368
 www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

丹後保健所 検索

- ### もくじ
- ・今冬のインフルエンザの流行状況……………①
 - ・インフルエンザ発生状況 ……………①
 - ・予防の習慣と心がけ ……………②
 - ・用語解説(A/H3N2香港型インフルエンザ)・②

今冬のインフルエンザの流行状況

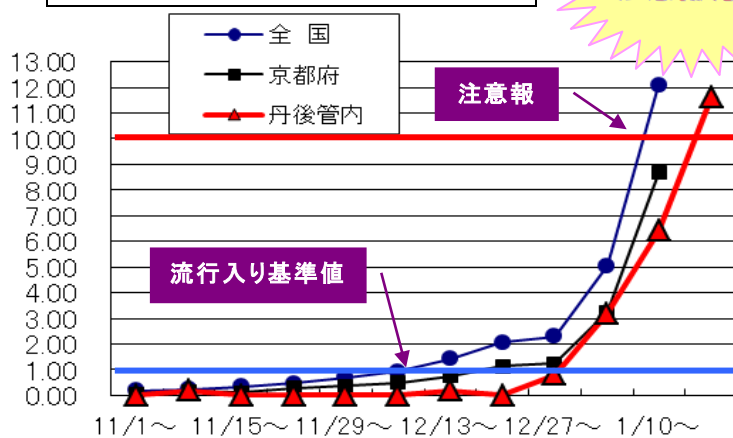
本格的な冬を迎え、インフルエンザの流行が始まっています。昨年末より全国的に流行しはじめ、丹後地域でも12月20日に初の学級閉鎖の報告があり、その亜型はA(H3N2)香港型でした。さらに12月28日には乙訓地域で新型インフルエンザ(A/H1N1)患者の報告がありました。昨シーズンはほとんどが新型でしたが、今冬は国立感染症研究所の報告(下図参照)にもあるように、A香港型と新型インフルエンザの2タイプが主に流行しているようです。

新学期が始まり、今後、急速な流行の拡大が予想されます。今季のワクチンには、新型、香港型のどちらの株も入っており一定の効果を期待できますが、やはり手洗い、マスクなど日頃からの感染予防の行動が重要となります。

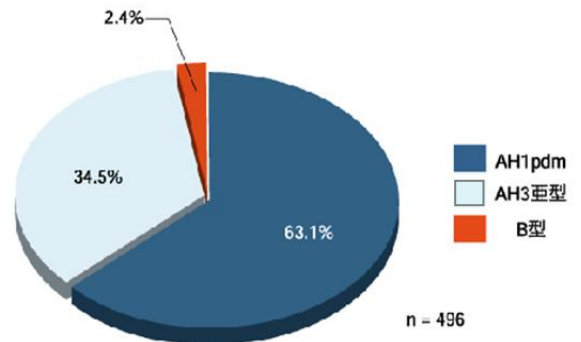
インフルエンザの発生状況

丹後でも注意報発令

全国の定点医療機関あたりの患者数



インフルエンザウイルス検出報告割合(2010年第49～52週)
(病原微生物検出情報:2011年1月7日現在報告数)



週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	23年1週	2週	3週
	11/1 ～	11/8 ～	11/15 ～	11/22 ～	11/29 ～	12/6 ～	12/13 ～	12/20 ～	12/27 ～	2011/1/3 ～	1/10 ～	1/17
全 国	0.20	0.25	0.35	0.44	0.7	0.93	1.41	2.06	2.3	5.06	12.09	未
京 都 府	0.05	0.15	0.12	0.28	0.37	0.50	0.76	1.15	1.25	3.24	8.67	未
丹後保健所	0	0.2	0	0	0	0	0.2	0	0.8	3.2	6.4	11.6

- ※1.0を超えると「流行入り」
- ※10をこえると「注意報」
- ※30を超えると「警報」

平成22年12月13日の週(50週)で全国の定点医療機関あたりの患者数が1.0を超えて流行入りとなりました。丹後保健所管内では今年に入ってから患者数が急激に増えており、今後2月上旬に向かって感染の拡大が予測され、注意が必要です。

インフルエンザが流行しているね。節分までは油断大敵!



インフルエンザにうつらない、うつさないために、続けましょう

予防の習慣・心がけ

- 外出後の手洗い・うがいを励行しましょう。
- 室内は適度な湿度(60~70%)を保ち、定期的に換気をしましょう。
- 体調の悪いときは人混みを避け、外出の際はマスクを着用しましょう。
- 過労や睡眠不足を避け、十分な栄養と休養をとりましょう。
- ワクチンを接種しましょう(65歳以上の方は定期接種の対象です。)
- 症状のある人は、速やかに受診するとともに、他の人にうつさないようマスク着用などの「咳エチケット」に努めましょう。



(用語解説) A/H3N2 香港型インフルエンザ

A型のインフルエンザウイルスは、亜型というより細かい種類に分けられます。ウイルスの表面にはスパイク(突起)状にHAとNAという2種類のたんぱく質が存在し、さらにHAは16亜型(H1~H16) NAは9亜型(N1~N9)あり、それぞれの組み合わせで、理論的には16×9=144種類の異なる亜型ウイルスが存在します。

ウイルスは絶えず変化し、数十年に一度の頻度で、まったく新しい亜型のウイルスが人から人へも感染するようになることがあります。こうして人から人に容易に感染するように変異したインフルエンザを「新型インフルエンザ」と呼びます。

A/H3N2香港型インフルエンザは1968年から1969年にかけて大流行した香港かぜとして有名ですが、それ以降も世界で流行を繰り返しています。2009年に大流行したA/H1N1新型インフルエンザより致死率が高く、特に高齢者や乳幼児、基礎疾患を持つ方が感染するとその影響が大きいと考えられています。

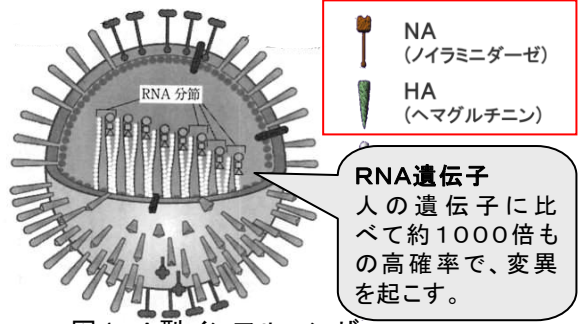


図1 A型インフルエンザ

RNA遺伝子
人の遺伝子に比べて約1000倍もの高確率で、変異を起こす。

新型インフルエンザ対策に係る関係機関連絡会議(報告)

医師会や病院、警察や消防等の関係機関の出席のもと1月7日に連絡会議を開催し、昨シーズンの新型インフルエンザ対応の問題点や今後の具体的な対策について話し合いました。

会議では、「発熱外来の名称は混乱を招きやすい、名称の変更を。」「情報提供のガイドラインを作成するなどして工夫を。」など、様々な意見が出されました。

今後は経験も踏まえた新たな体制整備を目指し、連携を取りつつ進めていくことで合意ができました。

2月2日には、関係機関で新型インフルエンザの対応訓練を予定しています。



オレ様は不摂生が大好きなんだ。



新型インフルエンザNEWS No.25

(平成23年3月発行予定)

- ・ トピックス
- ・ インフルエンザ流行状況